2026 年 11 月 23 日

R8 年度神奈川県スポーツ推進委員会研修会

林　　但

神奈川県では毎年表記研修会を 11 月 23 日(勤労感謝の日)に行っています。7 ブロックある中で今年度は相模原市が当番です。ほねごりアリーナにはスポーツ推進委員と事務局が170余名に県会長･副会長と研修部員に講師の相模原市と厚木市スポーツ推進委員が 60 名で合計約 230 名が集まった。趣旨は各種生涯スポーツの指導方法などを研修するもので、今回はピックルボール、 セストシューター、さがビンチャの3種目です。

セストシューターは、全員が集まってデモンストレーションを約 15 分、ビンチャとピックルボール(未経験者と経験ある人は分けて行う)はローテーションの中でルールの確認は行った。また、ローテーション方式で 35 分＋10 分休憩×3 種目である。

＜種目紹介＞開発の秘話他伺ったことを含む

★セストシューター：厚木市が10 年かけて開発した種目である。バスケットボールと玉入れの要素を取り入れ考案した種目。若者向けの競技でディフェンス担当は負荷が高い、小学校などにも出前授業など始めた。1チーム 4 名でシューターとディフェンスに分かれ相手チームと戦うものである。

☆さがビンチャ：相模原市が R8 年関東大会栃木の分科会で学んだ競技を改良、「さがみはら(で生まれた)」×「ビンゴ」×「ボッチャ」を融合させたニュースポーツです。3×3の的に向かって交互にボッチャの球を投げ、入った数･ビンゴの数の合計得点で競い合います。得点がわかりやすい、高齢者向けの競技です。公民館(横須賀のコミュニティセンター)などに出前体験会を始めた。

■ピックルボール：3 年前に同研修会で学んだ内容である割愛



開催市挨拶(副市長)　ブロックごとに整列





24 時間地球を救う(補助金で用具は購入)



セストシューターデモンストレーション



同左　試合風景



さがビンチャ　説明の場面



会場全体

（左奥：ピックルボール、真中：さがビンチャ、右手前：セストシューター）



左写真

2 階体育館入り口にラグビーとともにピックルボールの紹介があり、写真の右側にルール他詳しく書かれている。“ピックルボールに力入れている？”

＜感じたこと・気づいたこと＞

- ボッチャのボールは障がい者関連の補助金申請で用具は揃えたとのこと。（相模原市）
- 2市はニュースポーツへの取り組みに熱心である、組織だって行っている。関東大会などに出かけても小さな気づきを提案みんなで検討する風土がある。気づきを見逃さない。
- 今年度より神奈川県連合協議会の研修部会の部会長になり、いろいろな方と話す機会もあり、全体を見たりすることもある。今まで以上に情報は得やすいと思う。
- 私は午前中の研修部会の会議・会場準備後などで試す程度で、午後は研修に参加される方への声掛けや話を伺うことに徹した。
- 相模原も厚木も小学校や高齢者を対象に出前授業を行い始めている、横須賀市でも小学校やコミュニティセンターからの要請がいくつも来ている。ニュースポーツの普及やスポーツ推進委員の存在を高める機会である。

以上